

2011 年 3 月 11 日、緊急地震速報とほぼ同時に大きな揺れに襲われ、福島は大地震、津波、その後の原発事故と大変な被害を経験しました。あれから 10 年、福島の元気を取り戻すべく福島県人は県を挙げて前に進んでまいりました。今では、夕方のテレビニュースで当日の放射線量の発表がある程度で、少しずつ以前の生活を取り戻したかのように感じています。つい最近までは、街中のいたるところで防護服防護マスクの除染作業員が作業をし、そこで出た除染廃棄物の黒い大きな袋が山積みになっている仮置き場が各所に存在していたこと、併せて、今なお 3 万人の方々が故郷に帰ることができず全国各地に避難されている状況があることも福島の現実です。

この 10 年、福島県キンボールスポーツ連盟としましては、ニュースポーツで福島に元気を届けようと「キンボールスポーツで福島元気アッププロジェクト」と銘打って、県内各地でのキンボールスポーツ体験教室事業に力を入れてまいりました。小中高等学校の体育授業や親子レク活動、公民館事業、町内会活動、地域運動会など様々な場所で実施させていただき、今では年間 50～60 会場で延べ 3,000 名超の参加者にキンボールスポーツの楽しさ、良さを伝えることができております。ここから、指導者層、選手層の拡大にも力を入れ、まずは福島県大会の開催を、その次には、全国から多くの方々に福島に来ていただき楽しんでいただけるような恩返しのための全国大会開催を目指して努力を続けていきたいと思っております。

今このように活動できているのも、東日本大震災あの日から今日まで、皆さまからの変わらない温かいご支援とご協力のおかげです。福島県キンボールスポーツ連盟を代表して心より感謝申し上げます。皆さまからの大きな応援に応えられるよう、これからも前に進み続けます。

福島県キンボールスポーツ連盟 理事長 齋藤大介